

令和２年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「マーガホヴィト村立学校運動施設整備計画」供与式の実施

令和３年８月１１日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「マーガホヴィト村立学校運動施設整備計画」（贈与金額：19,411米ドル(2,343,000円)）の供与式がロリ州マーガホヴィト村において行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、アナニャン・マーガホヴィト村長、アンティニャン・マーガホヴィト村学校校長、被供与団体よりマーガホヴィト・ユースセンターNGOのマルティロシャン代表、米ピースコー・アルメニアのフェアレイ代表等が出席し、多くの児童・生徒や保護者も参加しました。

本案件はマーガホヴィト村の公立学校に必要な遊具・運動施設を整備することで、同村の子供の健全な心身の発達と住民の健康増進の促進を目的としています。これにより、400人以上の児童・生徒及び教職員に加え、3,000人以上の住民が裨益します。

式典の冒頭、被供与団体のマルティロシャン代表が歓迎の辞を述べつつ、今回の日本の支援を通して、地域が長年待ち望んでいた運動施設が完成したとして、日本政府に対する感謝の言葉が伝えられました。

続いて福島大使より、学校における学習環境は生徒の心身の健康に直結することから、日本はすべての子どもたちが適切な環境下で質の高い教育を受けることができるよう引き続き取り組んでいくと述べました。また、地方の教育セクター及び基礎インフラの強化を目的とする本案件は、まさに日本政府が掲げる「人間の安全保障」の概念に合致するものであると付言しました。

アナニャン村長はプロジェクトに関わったすべての関係者に祝意を表した上で、今後もマーガホヴィト村の発展に力を尽くしていきたいとの決意を示しました。

最後にアンティニャン校長が児童・生徒、保護者及び教職員を代表し、日本政府による支援に改めて謝意を表しました。



遊具が設置された校庭



運動場に設置された
日本の支援を示す ODA プレート



マルティロシャン代表の挨拶



福島大使の挨拶



ODA プレートの除幕



歓迎舞踊を舞った児童との記念写真